

俳句に音楽を♪

— 日本の音階を使って旋律づくり —

教科等横断的単元

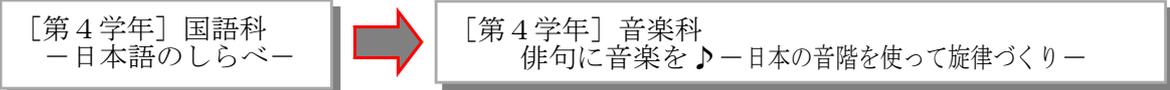
4年音楽科・国語科 7月 18Q〈6時間〉
 附属新潟小学校 教諭 佐藤 史人

1 **本題材で目指す姿**
音楽を形づくっている要素の特徴を生かした表し方を考え、俳句に込めたイメージに合った旋律をつくる子ども
 具体的には、**音楽を形づくっている要素（音階、旋律、変化）に着目する**という「見方・考え方」を働かせ、自分のイメージに合わせて音楽表現を考える力（**音楽科②思考力・判断力・表現力**）を発揮して旋律を工夫し、「私は『夏祭り 浴衣を着てる ひらひらと』という俳句をつくりました。そして、その俳句に合う音楽を箏でつくりました。日本の音階で表現したかったからです。初めは、『浴衣を着てる うれしいな』だったけれど、『うれしいな』が直接的な表現だったので、うれしさは音で表現することにしました。うれしくて浴衣をひらひらさせるイメージから言葉を『ひらひらと』に変えました。そして、旋律を高い音で変化させてみたら、『シラミレミー』とうれしい感じがする旋律をつくることができました」等と、俳句に込めたイメージに合った旋律をつくる姿。

2 **本題材で育成する資質・能力（評価基準）**

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の音階、旋律、変化の働きについての実感を伴う理解 ○即興的に旋律を表現する技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の表したいことについて見通しをもって発想・構想する力 ○自分のイメージに合わせて音楽表現を考える力 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで音楽にかかわり、協働して音楽活動しようとする態度 ○進んで日本の音楽に親しもうとする態度
国語科	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉の特徴や使い方に関する知識・技能 ○我が国の言語文化に関する知識・技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○書き方などの表現を工夫する力 ○感想や意見を伝え合い文章のよいところを見付ける力 	<ul style="list-style-type: none"> ○我が国の言語文化に親しむ態度

3 **関連する学習**



4 **題材の計画**

	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	Q
国語科 (一次)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏の俳句を読んで味わう。 ・夏の言葉が入っているね。 ○ 夏の俳句をつくる。 ・僕も夏の俳句をつくってみたい。 ・五七五のリズムでつくろう。 <p style="text-align: right;">☆国語科①②③</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○ 夏を表す言葉や言葉のリズムを五七五で考えるとうまく俳句が作れる。</p> <p style="text-align: right;">☆国語科①</p> <p>「夏祭り 浴衣を着てる うれしいな」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 日本の夏を表現する俳句を提示し、季語や情景を問う。 ◆ 教師がつくった夏の俳句を提示し、感想を問う。 ※ イメージマップを配付する。 ※ 短冊を配付し、自作の俳句を書かせる。 	6 Q 2 時間
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「俳句に音楽を♪コンテスト テーマ：日本の夏」を知る。 ・自分の俳句の言葉が歌詞になっている歌をつくってみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「音楽de俳句コンテスト テーマ：日本の夏」を提示する。 	

- 音楽を形づくっている要素（音階）を聴き取り、日本の音階で旋律をつくりたいという問いをもつ。
・ Bの方が合っていると思います。

○ 私も俳句に合うように日本の音楽をつくりたい。
★音楽科③

- 見通しをもって日本の音階で旋律をつくる。
・ 私は箏を使いたいです。箏は日本の音階で音が並んでいるから、「日本の夏」に合う旋律がつかれそうだと思いますからです。
★音楽科②
・ 箏を使って音楽づくりしよう。

○ 箏を使って、俳句に合う旋律ができてきたよ。
★音楽科①

- 作品をよりよくする視点をもつ。
・ 俳句は、「直接的な表現をしない」です。
・ モデルBの音楽は、隣の音に動いていない部分があります。
- 作品の改善点に気付く。

○ あなたの俳句は「うれしいな」と直接的な表現になっているよ。★協働性
○ 本当だ。録画した動画を見たら、「うれしいな」って直接的な表現だね。
★ツール活用能力
○ 私の作品の改善点が分かりました。

- 俳句の言葉を工夫したり、旋律を工夫したりしながら音楽づくりする。
・ 「時忘れ」は、直接的な表現じゃなくて、わくわくしながら時間を忘れて楽しんでいる感じがしていいね。
★国語科②
・ 「ひらひら～」だから、「シラシラ～」を変化させたいな。高くしてみよう。
★音楽科②
・ 今の音楽を忘れないように録画しておこう。
★ツール活用能力
- 音楽づくりで発揮した資質・能力を自覚する。
・ 音楽作品を発表する。
・ 振り返りシートを書く。

○ 私は「夏祭り 浴衣を着てる ひらひらと」という俳句をつくりました。そして、その俳句に合う音楽を箏でつくりました。日本の音階で表現したかったからです。初めは、「浴衣を着てる うれしいな」だったけれど、「うれしいな」が直接的な表現だったので、うれしさは音で表現することにしました。うれしくて浴衣をひらひらさせるイメージから言葉を「ひらひらと」に変えました。そして、旋律を高い音で変化させてみたら、「シラミレミー」とうれしい感じがする旋律をつくることができました。
★音楽科①②

- ◆ 音楽のモデルを2曲提示し、どちらのモデルが俳句に合っているかと問うた後、つくりたい音楽について記述させる。
【働き掛け1】

- ※ モデルA（西洋の音階でつくられている旋律）、モデルB（日本の音階でつくられている旋律）の順で聴かせる。
- ※ 学習シートを配付する。

- ◆ 音楽をつくるためにどの楽器を使うとよさそうかとその理由を問い、音楽づくりの時間を設定する。
【働き掛け2】

- ※ 希望する楽器を用意する。
- ※ 個人の楽器（鍵盤ハーモニカやリコーダー）の使用を希望する子どもには、日本の音階を意識しているかどうかを確認した上で認める。
- ※ 学習シートとタブレット端末による録画で作品を記録させる。

- ◆ 発表を聴き合うポイントについて俳句と音楽の両方から問う。【働き掛け3-①】

- ※ 発表されたポイントを板書する。
- ※ モデルBを聴かせる。

- ◆ 中間発表会を設定する。
【働き掛け3-②】

- ※ 改善したモデルB'を聴かせる。
- ※ 学習シートと付箋紙を配付する。

- ◆ 再び音楽づくりの時間を設定する。
【働き掛け4】

- ◆ 完成発表会を設定し、音楽作品の特徴を振り返りシートに記述させる。
【働き掛け5】